



平成 30 年 10 月 19 日

各 位

会 社 名：フジ日本精糖株式会社
代表者名：代表取締役社長 櫻田 誠司
(コード番号 2114 東証第2部)
問合せ先：取締役執行役員管理本部本部長
木船 亨

特別損失（連結・個別）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 3 月期第 2 四半期決算（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）において、下記のとおり特別損失を計上することといたしましたので、お知らせいたします。

また、当該特別損失の計上および最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 4 月 27 日付で公表しました平成 31 年 3 月期第 2 四半期（累計）及び通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上およびその内容

(1) 減損損失の計上（連結）

当社の連結子会社でありますFuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.（以下、F T I 社）及びDAY PLUS (THAILAND) Co.,Ltd.（以下、D P T 社）につきましては、両社の業績が策定した事業計画から下回って推移していることに伴い、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、F T I 社及びD P T 社が 保有している固定資産について、減損損失1,141百万円を計上することといたしました。

(2) 関係会社株式評価損、貸倒引当金繰入額、債務保証損失引当金繰入額の計上（個別）

前述のとおり、連結子会社F T I 社及びD P T 社の保有固定資産の減損損失計上に伴い、「金融商品に関する会計基準」に基づき、関係会社株式評価損 563 百万円を計上することといたしました。また、F T I 社及びD P T 社に対する当社からの貸付金に関して、貸倒引当金繰入額 757 百万円、当社が債務の保証先でありますF T I 社及びD P T 社の金融機関からの借入金に対する債務保証損失引当金繰入額 576 百万円を計上することといたしました。

なお、当該関係会社株式評価損、貸倒引当金繰入額及び債務保証損失引当金繰入額は個別決算のみに計上されるものであり、当社の連結業績への影響はありません。

2. 連結業績予想の修正

(1) 平成 31 年 3 月期第 2 四半期(累計) 連結業績予想数値の修正(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	580	650	400	14.90
今回修正予想(B)	10,000	780	940	△135	△5.03
増減額(B-A)	—	200	290	△535	
増減率(%)	—	34.5	44.6	—	
【ご参考】前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	9,913	535	748	495	18.46

(2) 平成 31 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,500	1,000	1,250	820	30.54
今回修正予想(B)	20,500	1,350	1,600	300	11.17
増減額(B-A)	—	350	350	△520	
増減率(%)	—	35.0	28.0	△63.4	
【ご参考】前期実績 (平成 30 年 3 月期)	19,846	929	1,225	793	29.56

(3) 修正の理由

平成 31 年 3 月期第 2 四半期及び通期の連結業績予想につきましては、当社の主力である精糖事業及び連結子会社ユニテックフーズ㈱の業績が好調に推移している結果、営業利益、経常利益は前回予想(平成 30 年 4 月 27 日公表)を上回る見込みではありますが、上記、1.(1) 減損損失計上の影響により、親会社に帰属する四半期(当期)純利益は前回予想(平成 30 年 4 月 27 日公表)を下回る見込みであります。

なお、平成 31 年 3 月期配当予想につきましては 1 株当たり 11 円 00 銭(期末)と前回予想(平成 30 年 4 月 27 日公表)から修正はありません。

(注) 上記予想は、現在入手可能な情報に基づいて算定したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上